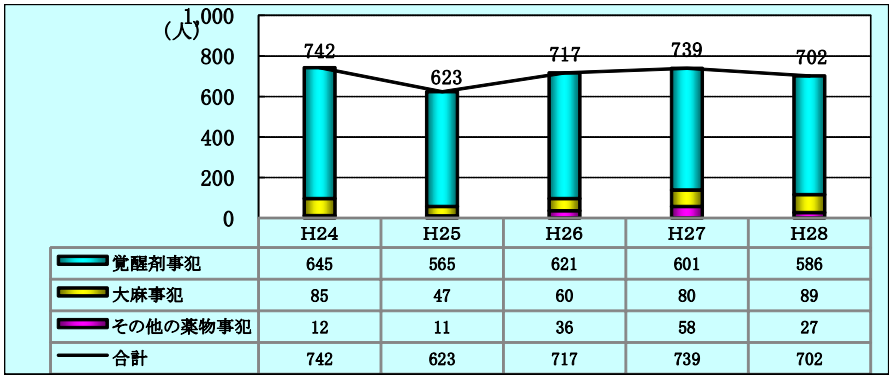
平成２８年政策評価書

| | |
|---|---|
| 千葉県警察重点目標 | 安全で安心できる県民生活の確保 |
| 施策 | 組織犯罪や匿名性の高い犯罪に対する戦略的諸対策の推進 |
| 施策目標 | 総合的な薬物対策及び暴力団対策の推進 |
| 施策設定の背景 | 薬物の密輸や密売は、組織犯罪の主要な資金源となっている一方、覚醒剤や危険ドラッグなどの薬物乱用者は、幻覚・妄想から各種犯罪を引き起こすなど、治安に対する大きな脅威であることから、供給の遮断と需要の根絶の両面から総合的な薬物対策を推進する必要があります。また、暴力団は、対立抗争事件や意に沿わない事業者等に対する襲撃事件を起こすなど、依然として社会の脅威となっていることから、暴力団組織の弱体化・壊滅に向けた総合的な暴力団対策を推進する必要があります。 |
| 実施項目１ | 薬物乱用者の発見及び徹底検挙 |
| 推進結果１ | 職務質問、相談業務等あらゆる警察活動を通じて、末端乱用者の発見、検挙活動を推進しました。 |
| 実施項目２ | 薬物密輸事犯の取締り強化 |
| 推進結果２ | 海空港の関係機関と連携を図り、水際で多数の薬物密輸被疑者を検挙して、大量の違法薬物を押収したほか、突き上げ捜査を徹底し、国内の密輸組織の実態解明や壊滅を図りました。 |
| 実施項目３ | 暴力団による不法行為の根絶 |
| 推進結果３ | １　暴力団犯罪の徹底検挙<br>あらゆる法令を駆使して、暴力団の資金源となる犯罪を摘発するなど、積極的に暴力団犯罪を検挙し、組織の弱体化を図りました。<br>２　暴力団対策法の積極的な適用<br>指定暴力団員がその所属する暴力団の威力を示して行う暴力的要求行為等に対して、暴力団対策法を適用し、中止命令を積極的に発出するなど、組織の資金源の遮断に努めました。 |
| 実施項目４ | 暴力団の活動基盤を崩壊させるための諸対策の推進 |
| 推進結果４ | １　千葉県暴力団排除条例に基づく諸施策の推進<br>千葉県暴力団排除条例の目的、効果等に係る広報啓発活動を推進するとともに、県民、事業者による暴力団排除の取組を積極的に支援しました。<br>２　地方公共団体が行う暴力団排除への支援<br>暴力団排除条例に基づく推進体制の整備のほか、公の事務・事業から暴力団等を排除するための規程整備など、地方公共団体が行う暴力団排除の取組を積極的に支援しました。 |
| 実績（成果） | １　平成２８年中における薬物事犯の検挙状況<br>薬物事犯の検挙人員は７０２人（暫定値）で、前年と比較して３７人減少しました。<br>危険ドラックに係わる事件の薬物検挙人員は９人（暫定値）で、前年と比較して２７人減少しました。 |

２　薬物密輸入事犯の検挙状況（平成２８年中）
　密輸入事案の検挙人員は４２人（暫定値）で、前年と比較して３人減少しました。
３　暴力団の検挙状況等（平成２８年中）
　暴力団の検挙人員は９３８人（暫定値）で、前年と比較して７３人減少しました。また、指定暴力団員が行う暴力的要求行為等に対する暴力団対策法に基づく行政命令の発出件数は９０件で、前年と比較して１件減少しました。
４　暴力団排除活動推進状況
　暴力団排除に取り組む県民や事業者に対する支援を実施し、祭礼や銀行取引などから暴力団を排除したほか、地方公共団体が行う暴力団排除への取組を支援し、一部事務組合と協定を締結するなど、暴力団排除基盤の整備を推進しました。

実績（成果）指標

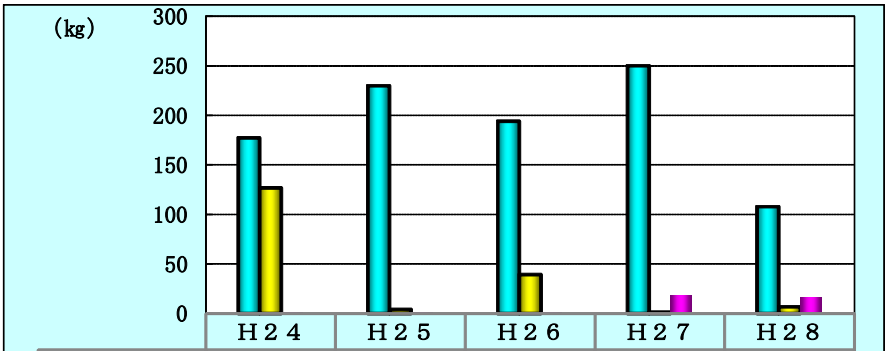
【薬物事犯の検挙人員（千葉県）】




| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 覚醒剤事犯 | 645 | 565 | 621 | 601 | 586 |
| 大麻事犯 | 85 | 47 | 60 | 80 | 89 |
| その他の薬物事犯 | 12 | 11 | 36 | 58 | 27 |
| 合計 | 742 | 623 | 717 | 739 | 702 |

注：平成２８年の数値は暫定値を示す。

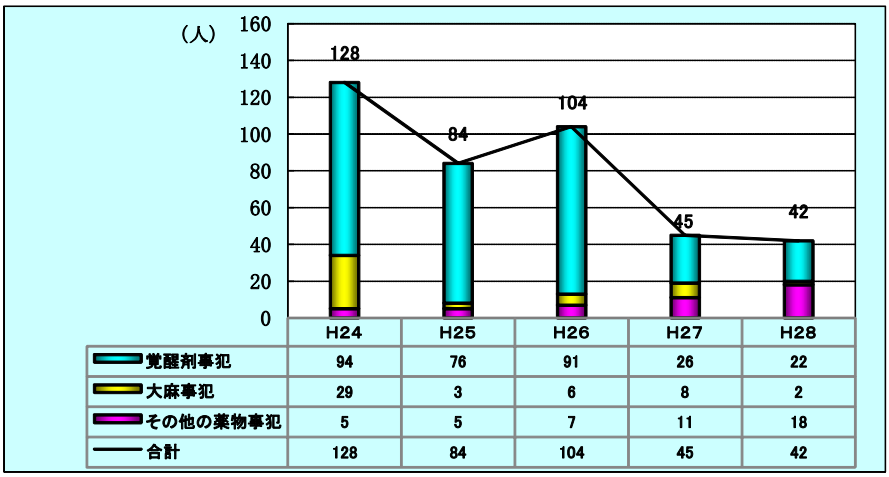
【薬物事犯の押収量（千葉県）】




| | Ｈ２４ | Ｈ２５ | Ｈ２６ | Ｈ２７ | Ｈ２８ |
|---|---|---|---|---|---|
| 覚醒剤 | 177.4 | 230.1 | 194.2 | 250.2 | 107.9 |
| 大麻 | 126.7 | 3.9 | 39.4 | 1.4 | 6.7 |
| その他の薬物 | 1.1 | 0.9 | 1.1 | 18.1 | 16.2 |

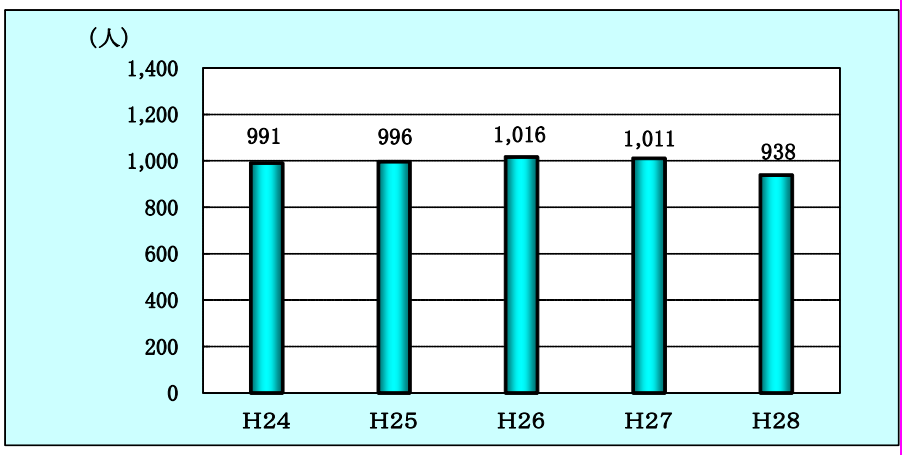
注：平成２８年の数値は暫定値を示す。

【千葉県における薬物密輸入事犯の検挙人員】



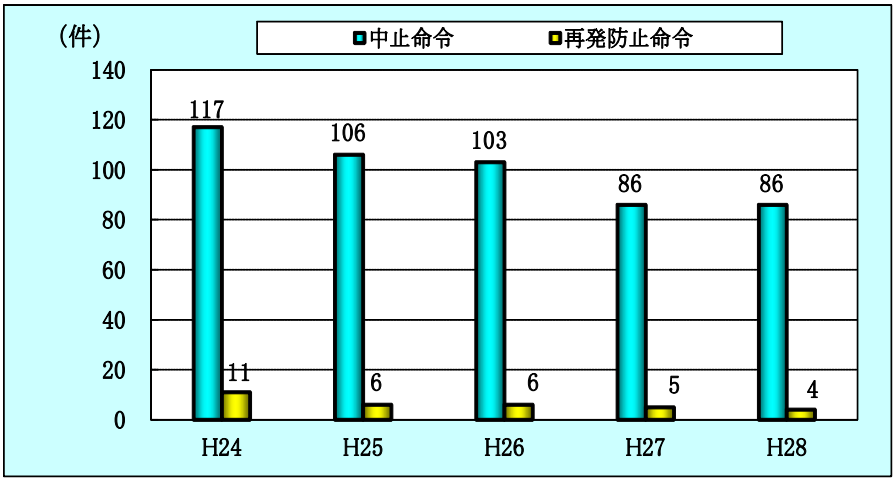

注：平成２８年の数値は暫定値を示す。

【千葉県における暴力団犯罪の検挙人員】




注：平成２８年の数値は暫定値を示す。

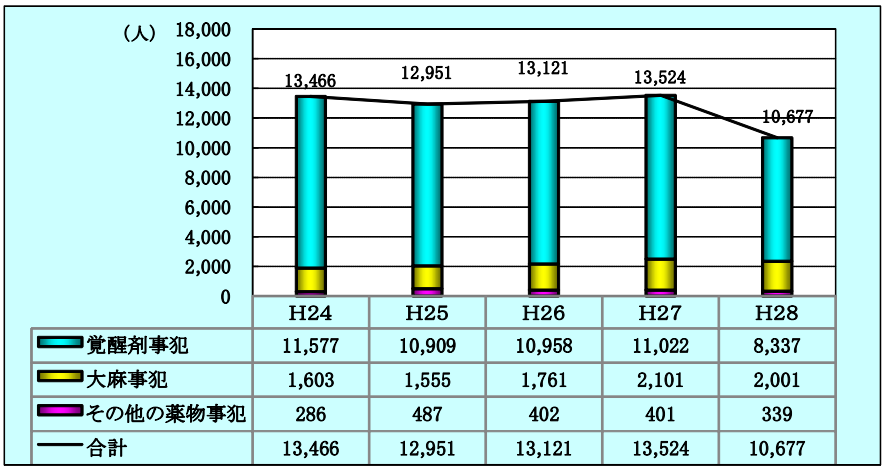
【千葉県における行政命令の発出件数】




注：平成２８年の数値は暫定値を示す。

参　考　指　標

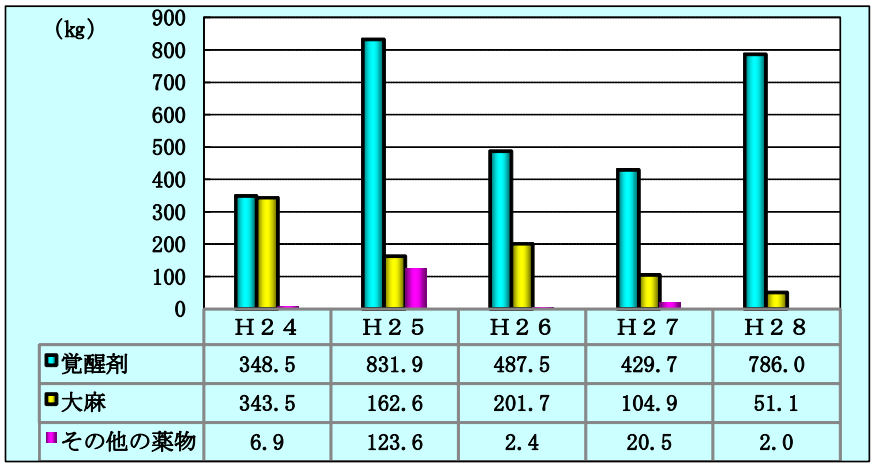
【全国における薬物事犯の検挙人員】




| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 覚醒剤事犯 | 11,577 | 10,909 | 10,958 | 11,022 | 8,337 |
| 大麻事犯 | 1,603 | 1,555 | 1,761 | 2,101 | 2,001 |
| その他の薬物事犯 | 286 | 487 | 402 | 401 | 339 |
| 合計 | 13,466 | 12,951 | 13,121 | 13,524 | 10,677 |

注：平成２８年の数値は、１０月末の数値を示す。

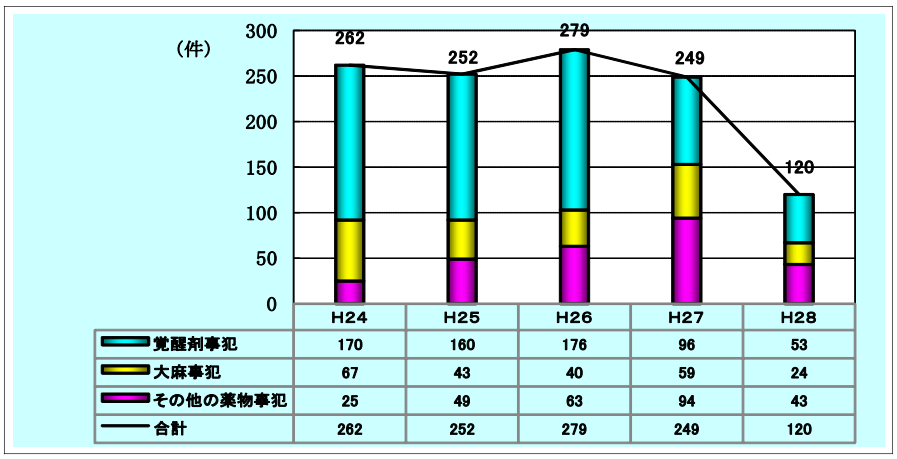
【全国における薬物事犯の押収量】




| | Ｈ２４ | Ｈ２５ | Ｈ２６ | Ｈ２７ | Ｈ２８ |
|---|---|---|---|---|---|
| 覚醒剤 | 348.5 | 831.9 | 487.5 | 429.7 | 786.0 |
| 大麻 | 343.5 | 162.6 | 201.7 | 104.9 | 51.1 |
| その他の薬物 | 6.9 | 123.6 | 2.4 | 20.5 | 2.0 |

注：平成２８年の数値は、上半期の数値を示す。

【全国における薬物密輸入事犯の検挙人員】




| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 覚醒剤事犯 | 170 | 160 | 176 | 96 | 53 |
| 大麻事犯 | 67 | 43 | 40 | 59 | 24 |
| その他の薬物事犯 | 25 | 49 | 63 | 94 | 43 |
| 合計 | 262 | 252 | 279 | 249 | 120 |

注１：平成２８年の数値は、上半期の数値を示す。
　２：本表の数値には麻薬特例法違反の検挙人員は含まない。

| | |
|---|---|
| 効　　果 | 1　薬物対策<br>　突き上げ捜査を徹底し暴力団や外国人犯罪組織が関与する多くの薬物密輸・密売組織を壊滅しました。さらに、麻薬特例法を積極的に活用し重罰を科すとともに薬物犯罪収益の剥奪するなど、人・資金の両面から打撃を与えました。また、関係機関と連携を図り、水際で大量の違法薬物を押収して、国内への流入を阻止しました。<br>2　暴力団対策<br>　あらゆる法令を駆使した取締りと暴力団排除活動を両輪とした取組によって、暴力団組織を支える人的基盤に打撃を与えるとともに、資金源の封圧を進めました。 |
| 今後の課題及び方針 | 1　薬物対策<br>　薬物乱用者の徹底検挙を図るほか、暴力団や外国人犯罪組織が関与する薬物密輸・密売組織の解明・壊滅に向けた捜査を推進します。<br>　危険ドラッグ販売は、ネット通販やデリバリー型へ移行し、潜在化していることから、関係機関との連携を更に強化して監視活動などの実態把握を推進します。<br>2　暴力団対策<br>　暴力団は、社会経済情勢の変化に応じて、暴力団関係企業や共生者を利用するなど、資金獲得活動を多様化させています。<br>　今後も、暴力団の弱体化・壊滅に向け、組織の実態解明を図るとともに、資金源犯罪等に重点を置いた取締り、官民一体となった暴力団排除活動を両輪とした暴力団総合対策を推進します。また、六代目山口組と神戸山口組が対立抗争状態にあることから、県民生活の安全に万全を期すため、引き続き、県警の総力を挙げた諸対策を推進します。 |
| 施策主管課<br>政策評価担当課 | 刑事部組織犯罪対策本部薬物銃器対策課及び刑事部組織犯罪対策本部捜査第四課<br>刑事部組織犯罪対策本部組織犯罪対策課 |